〝自助・共助〟に力点

「地域防災フォーラム」熱気

「災害時に助け合い、支え合えるコミュニティづくりを」と六月二十一～二十三日、区内三カ所で「港区地域防災フォーラム」が開かれました。港区役所、港区地域振興会、大阪市コミュニティ協会港区支部協議会、港区社会福祉協議会が主催。このうち港近隣センターで六月二十一日夜に行なわれたフォーラムには、東日本大震災で関心を高めた区民百人以上がつめかけ、熱気に包まれました。

◆率先して助け合おう

この中で平松市長は「東日本大震災を受け、自助・共助の在り方を考えてほしいと市内一二七カ所で取り組んでいる中の一つだ」とこのフォーラムの位置づけを提示。田端区長は「三十年以内に六〇～七〇パーセントの確率で発生するとされる東南海・南海地震に、市や区はどんな想定や対策をしているか」などを詳しく報告しました。

「災害時に助け合えるコミュニティづくりを」と開催された「港区地域防災フォーラム」＝港近隣センター

コーディネーターの森栗茂一氏（大阪大学教授）は「災害と背中合わせの豊かな環境の中で暮らす私たちは、災害への備えを忘れてはならない」「率先して逃げるため、率先して助け合う文化を」と強調。このあと四人のパネラーが報告に立ちました。

◆地域一体の取り組みを

このうち大阪市港湾局の担当者は「防潮堤は東南海・南海地震での津波想定を上回る高さを確保しており、防潮扉・水門は万全の閉鎖体制を構築している」と現状を報告。港警察署の担当者は「区民や他の機関と連携・協力して防災に取り組みたい」と決意を表明しました。

また港区障害者施設連絡会の山本氏は「障がい者は普通の人より避難が困難なので、福祉的な避難所の開設を」と要望。池島小の西川校長は「避難場所の確保や学校での避難生活のため、地域の知恵を出し合おう」と提案しました。

これらの報告に対して森栗氏は「個々の取り組みだけでなく、障がい者や高齢者や子供も含めた地域一体の取り組みとなることが重要」とまとめました。

◆一人ひとりがどこへ

次に会場から出された「防潮堤」「食料備蓄」などについての質問が紹介され、それぞれにパネラーらが答えました。このうち「避難できる高層ビルを教えて」に対しては田端区長が「今後、大阪市が津波避難ビルとして公共施設や民間施設との協定を進めていく中で、区としてはさらに一人ひとりがどこへ逃げるかまで追求したい。そのためにも地域での話し合いと訓練を」と訴えました。

このあと東日本大震災被災地へ支援に入った港消防署と港区社会福祉協議会の職員が、それぞれの活動を報告しました。

最後に森栗氏が「防災対策の完全を待たず、非日常を考えて日常を送ろう」と呼びかけ、結びとしました。

◆日頃の復習になった

参加者からは「防災リーダーとして日頃勉強していることの復習になった」「地域の連携の大切さが良く分かった」「港区の小学校に四階建が少ないことや、障がい者への対策が乏しいことなどが不安に思った」などの感想が聞かれました。

催しガイド

■国保交渉　「高すぎる国保料を何とかして」「国庫負担や市の繰り入れを増やして払える国保料に」と今年も七月十四日（木）午後二～四時、港区役所五階会議室で区の担当者と交渉。参加無料。主催は港区国保対策連絡会。☎六五七二―七八六七港民主商工会。

■原爆と戦争展　「第二次大戦の真実を伝えよう」「被爆者・戦争体験者は語り継ごう」と毎夏恒例の催し。①原爆と峠三吉の詩②第二次世界大戦の真実③沖縄戦の真実―等の写真を展示。体験記・語り部・震災のコーナーも。七月三十日（土）、三十一日（日）十～十七時、大正区コミュニティセンター（大正区千島二―六―一五）二階会議室で。入場無料。主催は大正区原爆被害者の会と大阪原爆展を成功させる会。

■東日本大震災被災地支援「チャリティカット」　美容師百五十人とアシスタント百五十人が五百円でカットサービス。七月二十五日（月）十一～十五時、大阪市中央体育館（地下鉄朝潮橋駅すぐ）大会議室で。売上は日本赤十字社を通じて被災地へ。主催は「感動の共有」を理念に活動するＭ，ｓコネクション（渡辺佑二代表、五十五社）大阪支部。☎〇九〇―二三八〇―〇七四七田口（チョキチョキ）（磯路の美容室ＣＨＯＫＩｃｈｏｋｉ内）。

■自閉症児を応援する気エネルギーワーク　プロの気エネルギー療法士が「自閉症児の体や心が少しでも楽になれば」と始めた。「気楽な参加」を呼びかけ。参加費無料。要予約。毎月第二・第四土曜十五～十八時に松井整骨院内で。弁天四―一〇―二六、☎六五七二―一一六五。

■みなと麻雀（マージャン）大会　「健康麻雀を広げよう」と毎夏開かれるイベント。港区麻雀業組合（竹馬進組合長）主催で三十五回目＝**写真は昨年の大会風景**。八月一日（月）正午からマージャンひろば（磯路三―二五―三）で。定員三十六人。出場費は一人千三百円（うち三百円は東日本大震災義援金）。健康麻雀は認知症予防や生きがいづくりに効果。厚労省認可。ねんりんピック正式種目。参加・見学等の問合せは☎六五七四―六六四三マージャンひろへ。

読者コーナー

読者の皆さんの投稿を歓迎します。内容は自由ですが、掲載・不掲載の決定や文章上の調整は本紙で行ないます。匿名でもかまいませんが、内容確認などのため、必ず本紙と連絡がとれるようお願いします。手紙かハガキかファクスで送って下さい。

元気をもらった！

（池島1・勝部泰臣（やすおみ）78歳）

大震災後、一般の新聞を読んでると気力が萎える。あの義援金は配分済み僅か一五パーセント（罹災証明発行の遅れとか）。放射能汚染の制御（出来るのか出来ないのか）。国会の怠慢（法案審議を盾にして権力闘争）。取り上げたらキリがないからやめる。港新聞六月号を読む。こちらからは〝元気〟を貰った。特に2面「組合員による新会社設立」。組合運動など今や前世紀の遺物と断じていた丈に、正直驚いた。今後数多の難題が出て来るだろうが、皆で力を合わせて軌道に乗せて欲しい。又、港新聞も「地域貢献が目的」と謳っている。地域の活性剤として引き続き元気の出る記事を載せて欲しい。

原発と戦争は同じ構図との見方賛成

（磯路2・女性）

東日本大震災の記事（前号1面）の中で、九十代の高齢者の方の言葉（同2面）が書かれてありました。〝原発災害と戦争は同じ構図だ〟という見方に私も賛成です。正確な情報が速やかに出なかったことがずーっと気になっていたのですが、「この方の言っているような複雑なことがあるのかもしれない」と感じました。長い人生経験に基づく高齢者のご意見。これからもどんどん発表して下さい。

不正駐車こそ厳しく取り締まってほしい

（区内・障害者男性）

「叫んでいいとも！」の蕭啓明（しょうけいめい）さんの提言（前号2面）を読みました。「介護や医療目的の車に『駐車違反』ステッカーはおかしい」「在宅介護・看護の実態を踏まえた柔軟な運用を」という筆者の主張は全くその通りだと思います。その上で言いたいのは、こうした機械的な取り締まりの一方で、例えば身体障害者用の「駐車禁止等除外標章」を健常者（家族や知人など）が流用するなど、不正かつ非常識な駐車がまかり通っているということです。これらこそ厳しく取り締まるべきではないでしょうか。そのためにも、こういう問題を議員や港新聞がもっと取り上げ、警察などに改善を求めてほしいと思います。

公園ねこサポーター制度の趣旨をもっと

（区内・女性）

「公園ねこサポーター」が活動を始めたとの記事（前号4面）を読みました。記事に出ていた尾崎さんや東城さんにはぜひ頑張ってほしいと思います。実は私も猫が好きで、近くの公園でサポーターになりたいと大阪市に問い合わせたのですが、受付窓口で「地元町会の理解が得られないので待ってほしい」と言われました。確かにこの制度の実施要綱には「当該公園愛護会」または「近隣の振興町会、自治会」の了承を得ることがサポーター認定要件の一つになっていますが、意外な対応に「一体どういうこと？」「地元は歓迎して当然なのに…」と戸惑いました。「市民協働による公園の環境保全と動物愛護の推進」というこの制度の趣旨を一部の町会関係者がよく理解されていないのではないでしょうか。いい制度だと思いますので、ぜひ大阪市は町会などに再度、充分に説明し、私のような例が出ないようにしてほしいと願います。

読者の作品から辻悦子さんの絵手紙

「人生劇場」川島さんが絵に託した思いを今に

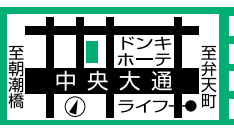
（市岡元町・55歳男性）

川島恵美子さんの「みなと人生劇場」（前号6面）を読んで。「佐田岬（さだみさき）の棚田（たなだ）」の美しさの裏にある農民の営みに心を揺さぶられました。絵は一瞬を切り取るもので、しかし、そこに全てが凝縮されているのですね。そう思う時、「港湾局公舎売却の撤回」を求める運動（前号3面）や、これから起こるであろう福井の原発を巡る問題も、私たちの日々の重要な営みの一つとして、一枚の絵になるのではないかと思いました。川島さんが絵に託された「（棚田を維持するために）そんな作業を営々と繰り返しながら…」の言葉を今の社会や私たちに結び付ける時、この棚田が一層身近に感じられるに違いありません。

子や孫に自分の人生をのこそう！
お話をききとり、冊子にしてお渡しします。
400字（原稿用紙1枚）で千円が標準料金です。
中学を出て親方の元で修業を積み、人一倍努力して独立を果たし、家族に人並みの暮らしをさせてやれただけでなく、地元に多少の貢献も出来ました。まだまだ頑張るつもりですが、そんな生き方から子や孫が学んでほしいと冊子にして頂きました。（弁天・60代男性）
田中3-3-3 飯田編集事務所 ☎6571-4636

学ぶ君は強くやさしくなれる！
試練の夏 一緒に 頑張ろう！
夏期講習7/25㊊～
小学生（75分×24回）18,000円～（曜日を選べるよ）
中学生（90分×32回）28,000円～（部活配慮するで）
本科要項

学年	科目	時間・回数（週）	月謝
小学3～6年	英 算 国	[授業90分+学校の宿題30分]×3回	10,000円
中学1・2年	英数国理社	180分×3回	18,000円
中学3年	英数国理社	180分×3回	20,000円

※小学生は曜日を各自選択 ※欠席してもふりかえ出席できるよ
中学生には内申重視へ4大対策！
①教科書を使って予習は超ばっちり！
②学校への提出物もきっちり指導！
③定期試験中は平常授業+40時間！
④副教科も軽視せずにしっかり指導！
★もちろん入試は春・夏・冬期講習で万全サポート！
エフォート学院
弁天3-14-8（西村ビル4F）
☎6572-8009（17～22時受付）


■港区で27年の実績■少人数丁寧指導
■無料体験入学OK■入塾金10,000円
■定期試験中の補講（40時間超）は無料
■入塾テストはなし■面談の方は要予約

駐車場 月極 18,900円（税込）

★24時間入出庫可
★屋内につき安心
★敷金は1カ月分
★車庫証明発行可
一時預り大歓迎！
100円/20分
昼間最大1,000円（8:00～20:00）
1泊2日最大2,000円
カービレッジ216
港区磯路2丁目1-4
＜営業＞AM8時～PM8時
☎6577-8731